



「会話」と「対話」

校長

年が明け、新たな年が始まりました。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

さて、令和8年は「午年」です。「午」は干支の7番目で、「馬」を意味します。特に今年は「丙午（ひのえうま）」の年に当たります。この「丙午」という呼び方は「十干十二支」に基づくもので、十干の「丙」と十二支の「午」が重なった年を指します。「丙」も「午」も、ともに「火」の性質をもつとされており、その二つが重なる今年は、とてもパワフルで、明るく、活気あふれる一年になってほしいと願っています。



そのような、みなさん一人一人のパワーをまとめ、よい方向へと導いていくためには、「相互理解」が欠かせません。そして、その相互理解を深めるために必要なのが「対話」です。互いのコミュニケーションをより良いものにするためには「会話」が大切ですが、集団が目標に向かって進んでいくためには「対話」が必要になります。「会話」と「対話」は似ているようでいて、その目的は異なります。

「会話」の目的は、親睦を深めたり、情報を交換したりして楽しむことにあります。休み時間に友達と、昨日観たテレビ番組や趣味の話をして過ごす時間が、これに当たります。一方で、「対話」の目的は、お互いの価値観やものの見方、考え方を理解し合い、問題解決に向けて意見を交わすことがあります。授業や委員会活動、部活動など、集団で活動する場面において、課題や問題を解決するために行う話し合いが、まさに「対話」です。

「夢を叶える三本柱」の一つである「対話」は、将来、皆さんのが自分自身のことや集団に関わる問題・課題に直面したとき、仲間と力を合わせて解決していくために必要な大切なスキルです。令和7年度も残すところ3か月を切りました。1月からの学校生活の中で、「会話」と「対話」を意識しながら、「対話」スキルを向上させ、より一層素晴らしい集団を築いていくことを願っています。

1月 主な行事予定

※SC→SC相談日 9:00~16:00 多様→多様な学びの相談員出勤日

日	曜	校内行事		日	曜	校内行事		
1	木	元旦	冬季休業日	～1/6		16	金	1, 2年生佐倉市学力状況調査
2	金					17	土	
3	土					18	日	
4	日					19	月	校内書初め展（～30日）
5	月					20	火	
6	火					21	水	SC
7	水	全校集会	3年生全校面接練習			22	木	学年評議会・委員会
8	木	給食開始	全校評議会			23	金	1, 2年生教育相談①
9	金	教育相談アンケート				24	土	
10	土					25	日	
11	日					26	月	
12	月	成人の日				27	火	1, 2年生教育相談②
13	火					28	水	1, 2年生教育相談③
14	水	避難訓練	SC			29	木	
15	木	自転車点検	月例アンケート			30	金	1, 2年生教育相談④
						31	土	

令和7年度 保護者アンケート集計結果



昨年12月には、「保護者アンケート」にご協力をいただき誠にありがとうございました。集計結果およびご意見を今後の学校経営に生かし、改善を図っていきたいと考えております。

【概要と考察】

昨年度と同様に12項目の設問を設けました。全設問において、「そう思う」「だいたいそう思う」の肯定的回答が、「あまりそう思わない」「そう思わない」の否定的回答を大きく上回っており、全項目の肯定的回答が80%を超えております。全設問における肯定的回答の平均は87.9%であり、本校の教育活動がおおむね支持していただけているものと受け止めております。

特に肯定的回答が90%以上であった設問は9項目あり、さらに95%以上であった設問は、「③校内の環境は学習の場として（情報掲示・学習資料・生徒の活動の様子等）配慮がなされている。⑦学校からの情報発信（学校だより・学年だより・HP等）は子どもたちの様子をわかりやすく伝えている。」の2項目でした。

肯定的な回答が最も低かった設問は、「④福祉学習の実践は日頃の生活に役立っている。」の83%でした。根郷中学校では昨年度に引き続き、近隣の福祉施設から講師を招き、1学年では障がいについての講話、聴覚障がい疑似体験、2学年ではアイマスク補講体験、手話講座、3学年では点字講座を行ってます。肯定的な回答が80%を超えてはいますが、「福祉学習」における学びが、日常生活に生きる取り組みとなるように、更に改善を図っていきたいと思います。

肯定的回答率が85%を判断のひとつとして目安にしておりますが、各項目の分析を進め肯定的回答平均87.9%に甘んずることなく、各教科・学年・分掌においても分析を進め、学校全体のより一層の改善を図ってまいります。

今回いただきましたご意見・ご要望につきまして、次年度の教育課程に反映できるよう現在検討を進めております。また、ご意見をいただいた回答につきましては、次号の学校だよりにて掲載させていただく予定です。

評価項目	そう思う	だいたいそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
①子どもたちは学校生活を楽しいと感じている。	32%	60%	7%	2%
②工夫された授業が展開され、子どもたちは意欲的に学習に取り組んでいる。	19%	66%	14%	1%
③校内の環境は学習の場として（情報掲示・学習資料・生徒の活動の様子等）配慮がなされている。	30%	65%	5%	1%
④福祉学習の実践は日頃の生活に役立っている。	22%	61%	18%	1%
⑤学校生活を通して身につけた力（知識・技能、礼儀等の社会性）が、日常生活に反映されている。	25%	66%	8%	1%
⑥子どもたちは、交通マナーを守り、安全に注意して登下校している。	28%	57%	13%	1%
⑦学校からの情報発信（学校だより・学年だより・HP等）は、子どもたちの様子をわかりやすく伝えている。	36%	59%	3%	2%
⑧教職員は家庭と連携を図り、子どもたちの指導にあたっている。	33%	51%	16%	1%
⑨学校行事や部活動等は、適切に実施されている。	34%	50%	14%	2%
⑩教職員は、情熱をもって子どもたちの指導・支援にあたっている。	29%	62%	7%	2%
⑪学校は、いじめや生徒間トラブルに迅速に対応している。	22%	64%	12%	2%
⑫学校は、特別支援教育の充実に努めている。	24%	62%	12%	2%

保護者アンケート結果

